

弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

震災日誌(三)

平安時代末期、為政者や宗教者は戦乱と疫病で荒廃した世の中を救う力を失っていた。そんな世の中を救うべく専修念仏の哲学を武器にして、たった一人で既成権力や災禍を相手に戦った法然上人は、私にとってヒーローである。

東日本大震災後の現状は、この平安末期に酷似している。私も世の中を救うヒーローになりたいとは思わない。残念ながら、法然上人のような勇気や忍耐力や優秀さを持ち合わせていない。私がしていることといえば、政府や東電、原発御用学者を批判することぐらいである。何とも情けない限りである。

福島第一原発の現場で事故の収束に命をかけている方々もヒーローである。毎日放射能を浴び続けながら、私たちが救うために一生懸命作業を続けている。

私は考える、「未だ収まることのない放射能はすでに私たちの周りにも降り注いでいる。今私たちが、放射能を浴びながら生きているのなら、この部分で作業員の方々と心を合わせることができないのではないか」と。

これは口先だけの同情ではない。立場は違えども、私たちも原発作業員の方々と同じように、命を懸けて生きなければならぬのだ。

原発事故現場で働くことはできないが、今私たちがなすべきことを命をかけて為すことが東北の被災地の復興と原発事故収束への着実な歩みとなる。そして、社会全体にチャリティームードがなくなるとき、本当の復興が始まるのだと思う。私も「法然上人のように」とはいかないまでも、知性を磨き、知性を武器に、命ある限りこの逆境と戦ってゆきたい。

筆頭総代本田弘さんご逝去

四月十八日、当山筆頭総代の本田弘さんがお亡くなりになられました。八十四歳でした。

本田さんは長年にわたり弘経寺の総代として教団の護持にご尽力くださいました。

また、本堂改修工事におきましては建設委員長をお勤めになられ、落慶式の際には弘経寺の代表として謝辞を述べられるなど、本堂改修事業の中心として活躍されました。

本田弘さんのこれまでの当山への多大なる貢献に対し感謝の意を表すると共に、心からのお念仏を捧げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

東京都、千葉県、埼玉県にお住いのお檀家様へ

お棚経にお伺いいたします。

お棚経を希望される方は、七月十四日と七月十五日の二日間の内、ご都合の良い日を弘経寺(〇二九七-二四一〇八九五)までお知らせください。

震災お見舞金を頂戴しました

● 飯田俊二様 三〇〇〇〇円

七月の写経会

七月二十三日(土)

1:45	受	付
2:00	法	話
2:20	写	経
2:50	お	念
3:10	懇	談

会費 一〇〇〇円(高校生以下は五〇〇円)

※ 写経会の会費は、東日本大震災義捐金として、赤十字に寄付させていただきます。

携行品 小筆(受付でも販売します)

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

四月十八日 本田 弘殿 八四歳
 四月二十九日 落合 政雄殿 九〇歳
 五月三十一日 飯田テイ子殿 六八歳
 六月 一日 高野 八郎殿 八一歳